TORIDOLL→

trans cosmos people & technology

News Release

2026 年 10 月 23 日

トリドール HD、トランスコスモスと連携し
新しい建築手法「BIM」を導入開始
BIM x AI で店舗管理の高度化にもチャレンジ

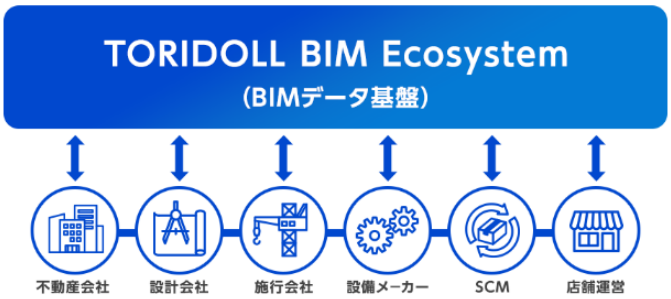
設計・施工・維持管理をつなぐ基盤を構築し、飲食建設業界のデジタル変革を加速

「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げる株式会社トリドールホールディングス（東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO 粟田 貴也、以下：トリドール HD）は、店舗開発・建設業務の高度化を目的として、日本国内で普及し始めた建築手法である BIM（Building Information Modeling）の導入を開始しました。また、BIM 活用を推進するパートナー企業の拡大に向けて、設計会社向けの「BIM 習得プログラム」の受付を開始します。

トリドール HD は BIM データ化などのモデリング分野、BIM ルール作成などの運用支援、BIM 人材育成・教育プログラムの運営、定着推進において、トランスコスモス株式会社（東京都豊島区、代表取締役共同社長：牟田 正明、神谷 健志、以下：トランスコスモス）と連携します。一連の活動を通じ、飲食建設業界における次世代のモデルケースとなるような仕組みの構築を目指します。

「店舗を建てる」から、「店舗の未来を設計し、お客様の店舗体験を守る」へ

今回導入する BIM は、3D の建物モデルに属性情報を付加したデータベースを活用し、店舗のライフサイクル（土地探索、設計、施工、運営、修繕、改装、閉店）全体で情報を共有・活用する仕組みです。トリドール HD が構築する「TORIDOLL BIM Ecosystem」（BIM データ基盤）を通じて、トランスコスモスが持つ BIM の知見を活用しながら、グループ各社の店舗開発・建設プロセスの標準化と再現性向上を目指します。



BIM の導入により、店舗の維持管理をより適切に実施できる仕組みを構築して従業員のメンテナンス業務の負担を軽減することや、予想外の故障・修繕による臨時休業のリスク低減などの効果が期待できます。これによりお客様へのご迷惑をおかけする可能性を減らすことにもつながります。店舗を良好に保つことはトリドール HD が進める「心的資本経営」の実現にも貢献します。
さらに、トリドール HD では BIM に AI を組み合わせた運用方法の開発を進め、店舗のライフサイクル管理をより効果的に実施できる体制の構築を目指してまいります。

BIM の導入で強化が期待される分野

- 店舗設計の可視化・品質向上

BIM により店舗を 3D モデルで再現することで、設計段階から完成イメージを関係者間で共有できるようになります。設計者・施工会社・発注者の認識のずれを減らし、より品質の高い店舗づくりを実現します。

- 設計・施工情報の共有による生産性向上

設計図面や設備情報などをクラウド上で一元管理することで、設計・施工・発注に関わる関係者が常に最新情報を共有できます。情報伝達の手間や確認作業を削減し、建設時のプロジェクト全体の生産性向上につなげます。

- 積算業務や工事進捗管理の効率化

BIM に蓄積されたデータを活用することで、部材数量の算出や図面作成の効率化が可能になります。また、工事の進捗状況を視覚的かつリアルタイムで把握できるため、建設プロセスの最適化を図ります。

- 設備保全や維持管理の高度化

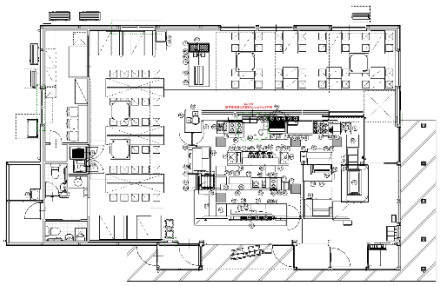
店舗の設計情報や設備情報を建設後も継続して活用することで、修繕・改装・設備更新の精度向上を実現します。店舗ライフサイクル全体を通じて、より効率的な維持管理体制の構築を目指します。

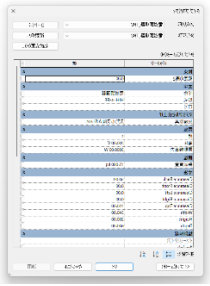
- 将来的な設計最適化や出店判断支援

BIM によって蓄積される店舗データと AI を組み合わせることで、設計の最適化や積算支援、さらには出店計画の高度化につなげていきます。経験や勘に依存していた判断にデータを活用することで、より再現性の高い店舗開発を目指します。

丸亀製麺標準モデル

設備保全や維持管理の高度化





設計会社・建設会社向け「BIM 習得プログラム」の受付を開始
大型建築案件と比較して、飲食店舗の建設分野では BIM 活用が十分に普及しておらず、多くの設計会社が導入を検討しながらも、教育機会や実践機会が不足している現状があります。こうした課題を解決するため、トリドール HD はパートナー企業向けに BIM 教育プログラムを開設し、参加企業の募集を開始します。

本プログラムでは、

- BIM の基礎知識
- トリドール HD における BIM 活用方針
- 実際の店舗設計フローに沿った運用方法
- BIM ソフトの操作方法
- 標準モデル・ファミリデータの活用
- 実案件を活用したフォローアップ

などを提供予定です。参加企業は実案件を通じて BIM 活用スキルを習得しながら、飲食店舗設計における新たな価値創出に挑戦することができます。
（教育プログラムへ参加希望の方は下記問い合わせ窓口からご連絡をお願いいたします。）

トランスコスモスと連携し、BIM 標準化および人材育成から定着までを推進
「BIM 習得プログラム」の取り組みでは、トランスコスモスと連携し、人材育成から標準化、運用定着までを含めた運営体制を構築します。役割分担は以下の通りです。

トリドール HD

- 教育機会の提供
- 実案件の提供
- BIM 活用事例の共有
- パートナーネットワーク形成

トランスコスモス

- 教育カリキュラム設計
- BIM 研修運営
- 教育コンテンツ開発
- BIM 標準化支援
- AI 活用教育
- 設計業務改革支援
- 運用定着

トランスコスモスが提供する BIM サービスは、トリドール HD と設計事務所の架け橋となり、BIM を活用した業界のプロセス変革から関連協力会社も含めた共通データ環境の構築までをトータルに支援します。支援内容は、設計ルールやテンプレートを定める標準化、

各ブランドの什器・厨房機器・設備などの BIM パーツ制作・提供、設計事務所や関係者への実務運用支援から定着支援まで、多岐にわたります。

2030 年を見据え、飲食建設業界の新たなスタンダード創出へ
世界的に建設業界では BIM 活用が加速しており、日本国内でも公共工事への適用や確認申請のデジタル化が進められています。トリドール HD は、自社だけの効率化にとどまらず、設計会社・施工会社・設備メーカーなど幅広いパートナー企業と連携しながら、飲食建設業界全体のデジタル化を推進します。2030 年には、不動産会社、設計会社、施工会社、設備メーカー、SCM、店舗運営をデータで接続するエコシステムを構築し、店舗網の拡大と再現性の高さという二律両立を満たす店舗開発モデルの確立を目指します。

トリドールホールディングスについて
「食の感動で、この星を満たせ。」をスローガンに掲げ、さまざまな業態の飲食チェーンを展開し、味覚だけでなく五感が揺さぶられる、本能が歓ぶほどの感動を探求し続けています。
トリドールグループは「心的資本経営」を原動力に、従業員の“心の幸せ”とお客さまの“心の感動”を生み出し、持続的な事業成長を目指しています。
今後も「食の感動体験」をどこまでも追求し、世界中で唯一無二の日本発グローバルフードカンパニーを目指して、予測不能な進化を遂げるため、国内のみならず海外での展開を積極的に推進してまいります。

トランスコスモス株式会社について
トランスコスモスは 1966 年の創業以来、優れた「人」と最新の「技術力」を融合し、より価値の高いサービスを提供することでお客様企業の競争力強化に努めて参りました。現在では、アジアを中心に世界 36 の国と地域・189 の拠点で、お客様企業のビジネスプロセスをコスト最適化と売上拡大の両面から支援するサービスを提供しています。BIM 領域では、2016 年よりサービスを開始し、現在では導入に関するコンサルティングから開発・検証・運用定着まで一貫して支援する循環型サービスを提供し、30 社以上のお客様企業にご活用いただいています。トランスコスモスは、お客さまや社会と向き合い、構想から実行までを共に考え、共に挑み、共に実現してまいります。

[お問い合わせ先]

報道関係のお問い合わせ
株式会社トリドールホールディングス　広報 佐藤
TEL：03-4221-8900　　E-mail：tori-pr@toridoll.com　　https://www.toridoll.com/
BIM 習得プログラムへのお問い合わせ　株式会社トリドールホールディングス　建設本部　池田
E-mail：takashi.ikeda2@toridoll.com
トランスコスモス株式会社　広報宣伝部　冨澤
TEL：03-6709-2251　　Email：pressroom@transcosmos.com　https://www.trans-cosmos.co.jp/